

学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

学校名	南さつま市立金峰学園	児童生徒数	419人
-----	------------	-------	------

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等



「分かった」で振り返ろう。例) ○○が分かった。(○○が分からなかった。)	「できた」で振り返ろう。例) ○○ができた。○○ができるようになった。	「変わった」で振り返ろう。例) (友だちの意見を聞いて)考えが○○から△△に変わった。	「いかにしたい」で振り返ろう。例) これから○○でいかしていきたい。
筆者の文章の工夫がわかった。	文章の工夫を見つけることができた。		これから自分で書く文章に今日学んだことを活かしたい
説得力があるようにまとめたらそのぶんだけ、納得できるようになった。			わでかいもこれからもいかに使っていきたい。
双活型の文章を書いてその文章にあった資料を並べれば良かったことがわかった。		選んでいた資料が友だちの意見を聞いてその意見に納得して選んでいた場所が友達を選んでいた場所が変わった。	
筆者がどのような工夫して書いているかが分かった。	資料の順番を考えたり、グループで話し合うことが出来た。		
筆者がどのような工夫をして説得力のある文を書いたかが分かった。			これから、説得力のある文を書くときに活かしたい。

○授業の終末にロイロノートのアンケート機能を用いて振り返りを行います。

○アンケートを一覧で表示し、集計や理解状況の確認を行い、次の授業へいかします。
○振り返りの視点は、南薩地区で示されている「わでかいも」を用いて、自分の学びを振り返っています。

【1】「分かった」で振り返ろう。
例) ○○が分かった。(○○が分からなかった。)

回答一覧
筆者の考えが、「はじめ」と「終わり」にあることを双括型(そうかつがた)ということがわかった。
筆者は、はじめと終わりに筆者の考えを書いたり、文章に合う順番に資料を並べて、工夫をしていることが分かった。
説得力があるようにまとめたらそのぶんだけ、納得できるようになった。
筆者がどのような工夫をして説得力のある文を書いたかが分かった。

○児童がロイロノートに記述した振り返りです。

取組についての概要 (成果)

11月1日(水) 第5学年 国語科「資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう」(教材「固有種が教えてくれること」,「統計資料の読み方」,「グラフや表を用いて書こう」)における実践

本時の「振り返り」は、ロイロノートのアンケート機能を活用して行った。アンケートの項目は、南薩地区の振り返りの視点を用いて、「分かったこと」、「できたこと」、「考えが変わったこと」、「いかにしたいこと」、「もっと知りたいこと」で行なった。

本時では、文章構成や資料と教材文の関係から考えられる効果についての振り返りが見られ、説得力をもたせる文章構成や資料の使い方について児童の理解状況を把握する事ができた。改善点として、ロイロノートのアンケートを用いた振り返りは、前の単元の振り返りを児童が見て、学びを確認する事が出来なかったため、3学期はスプレッドシートを用いて1シート1時間で単元全体の振り返り+1単元の振り返りを行ない、児童が学びを確認する事ができるように指導していく予定である。

